

薬学部 アセスメント・プラン

アセスメントの方針

建学の精神並びに教育の目的に沿った教育活動を実施できているかを確認し、教育活動の成果と課題の発見に資することを目的として、学修成果のアセスメントを行う。学修成果に加えて、その過程となる学修意欲や学修行動もアセスメントに含む。これらのアセスメントにより、3つのポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー）の到達状況を把握する。ディプロマ・ポリシーの到達状況は卒業時の学修成果や卒業後の自己並びに社会的評価、カリキュラム・ポリシーの到達状況はカリキュラムの実施状況及び各授業科目における学生の学修成果等をもとにディプロマ・ポリシー到達に向けた進捗、アドミッション・ポリシーの到達状況は入学者の資質・能力を確認する。

アセスメントは、学生の成果物等に基づき「何ができるか（アウトカム）」を評価する直接評価と、学生の自己評価に基づき「何ができると思っているか（アウトカム）」、「どのように学修しているか（アウトプット）」を評価する間接評価に基づき行う。学生全体だけでなく個々の学生の状況についても、経年的かつ多面的に把握する。

アセスメントの方法

No.	名称	対象	時期・頻度	学年	主な質問項目、内容等	実施責任部署	結果の活用方法
1	学修ポートフォリオ	DP1～3	毎学期の最初と最後	全学年	学修の状況、DP到達度評価	自己点検評価委員会	DP到達状況の確認、学修支援、自己点検・評価に活用
2	実務実習訪問指導	DP1～3	実習期間中・実習施設毎・毎年	医療5年生	指導薬剤師との面談、学生指導、学修成果の評価	実務実習実施委員会	DP到達状況の確認、学修支援、自己点検・評価に活用
3	卒業論文・卒業研究	DP1～3	毎年度末	卒業学年	卒業論文・卒業研究等の学修成果	カリキュラム検討委員会卒業研究発表実施部会	卒業論文及び卒業論文発表のルーブリック評価を行い、授業方法やカリキュラム改善、自己点検・評価に活用
4	就職状況調査	DP1～3	毎年1回	卒業学年	卒業生の進路（就職率、進学率、就職先）	就職支援委員会	就職支援対策、自己点検・評価に活用
5	卒業アンケート	DP1～3	毎年1～3月	卒業学年	学修により修得した能力、大学の満足度	IR推進委員会	カリキュラム改善、学修支援の充実、自己点検・評価に活用
6	全国学生調査(最終年次)	DP1～3	毎年1回	卒業学年	学修経験、学修行動、習得した能力、大学の満足度	IR推進委員会	カリキュラム改善、学修支援の充実、自己点検・評価に活用
7	卒業生アンケート	DP1～3	毎年1回	卒業後3年経過の卒業生	現在の就業状況、大学に対する満足度、大学で身についた能力、授業や教育プログラムへ	IR推進委員会	カリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価に活用

					の意見・要望		
8	学部長会談	CP/DP1 ～2	毎年3月	学生代表者	授業、カリキュラム満足度、学生生活の要望	内部質保証推進委員会	学修環境の改善、授業方法及びカリキュラムの改善、自己点検・評価に活用
9	薬学共用試験結果の分析	CP/DP1 ～3	毎年度末	医療4年生	OSCE、CBTの合格状況	国試・CBT対策委員会、実務実習実施委員会	カリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価に活用
10	薬剤師国家試験結果の分析	CP/DP1 ～3	毎年度末	医療6年生	薬剤師国家試験の合格者の割合、標準年限内の卒業生数、自己採点結果の分析	国試・CBT対策委員会	カリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価に活用
11	中間評価アンケート	CP	毎学期の中間	全学年	学修の状況、授業の満足度	自己点検評価委員会	授業方法やカリキュラム改善、自己点検・評価に活用
12	学修振り返りアンケート	CP	毎学期の最後	全学年	学修の状況、授業の満足度	自己点検評価委員会	授業方法やカリキュラム改善、自己点検・評価に活用
13	学生生活実態調査	CP	隔年9～10月	全学年	学生生活、課外活動の経験、学修行動、大学に対する評価	学生指導・留年生対策委員会	カリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価に活用
14	全国学生調査(2年次)	CP	毎年1回	2年生	学修経験、学修行動、習得した能力、大学の印象	教育改革・FD推進委員会	学修環境の改善、授業方法及びカリキュラムの改善、自己点検・評価に活用
15	GPS-Academic(医療4年次、創薬3年次)	CP	毎年4～5月	医療4年生、創薬3年生	学修行動、授業・カリキュラム満足度	教育改革・FD推進委員会	キャリア支援、授業方法やカリキュラム改善、学修支援や低学年時における学修環境の充実、自己点検・評価に活用
16	成績不振学生、休退学の調査	CP	毎年1回	全学年	単位修得状況、GPA、留年者数、休退学者数	学生指導・留年生対策委員会	学生に対する面談を実施し、修学及び学修支援、自学部のカリキュラム改善、自己点検・評価に活用
17	CBT対策模擬試験の結果分析	CP	毎年3回	医療4年生	学修の状況(得点率、苦手項目)	国試・CBT対策委員会	カリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価に活用
18	薬剤師国家試験対策模擬試験の結果分析	CP	毎年6回	医療6年生	学修の状況(得点率、苦手項目)	国試・CBT対策委員会	カリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価に活用
19	入学試験	AP	入学前・毎年	入学志願者	薬学部での学修に必要な基礎学力	教育改革・FD推進委員会、高大連携・リメディアル教育対策部会	入学者の現状把握に活用
20	プレイスメントテスト(化学、生物、物理、数学)	AP	入学前・毎年	1年生	薬学部での学修に必要な基礎学力	高大連携・リメディアル教育対策部会	入学時点の理系科目の習熟度を把握し、学部基礎科目の教育に活用、化学及び生物のリメディアル教育の補講授業に活用
21	プレイスメントテスト(英語)	AP	入学前・毎年	1年生	薬学部での学修に必要な基礎学力	教養・語学教育部会	入学時点の英語習熟度を把握し、習熟度別語学教育のクラス分けに活用

22	GPS-Academic(1年次)	AP	毎年4~5月	1年生	本学への満足度、入学前の学習状況、卒業後の進路	教育改革・FD推進委員会	入学時点の汎用的能力の把握、今後の学修支援、自己点検・評価に活用
----	-------------------	----	--------	-----	-------------------------	--------------	----------------------------------

以上

薬学部 医療薬学科 アセスメント・プラン

アセスメントの方針

建学の精神並びに教育の目的に沿った教育活動を実施できているかを確認し、教育活動の成果と課題の発見に資することを目的として、学修成果のアセスメントを行う。学修成果に加えて、その過程となる学修意欲や学修行動もアセスメントに含む。これらのアセスメントにより、3つのポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー）の到達状況を把握する。ディプロマ・ポリシーの到達状況は卒業時の学修成果や卒業後の自己並びに社会的評価、カリキュラム・ポリシーの到達状況はカリキュラムの実施状況及び各授業科目における学生の学修成果等をもとにディプロマ・ポリシー到達に向けた進捗、アドミッション・ポリシーの到達状況は入学者の資質・能力を確認する。

アセスメントは、学生の成果物等に基づき「何ができるか（アウトカム）」を評価する直接評価と、学生の自己評価に基づき「何ができると思っているか（アウトカム）」、「どのように学修しているか（アウトプット）」を評価する間接評価に基づき行う。学生全体だけでなく個々の学生の状況についても、経年的かつ多面的に把握する。

アセスメントの方法

No.	名称	対象	時期・頻度	学年	主な質問項目、内容等	実施責任部署	結果の活用方法
1	学修ポートフォリオ	DP1～3	毎学期の最初と最後	全学年	学修の状況、DP到達度評価	自己点検評価委員会	DP到達状況の確認、学修支援、自己点検・評価に活用
2	実務実習訪問指導	DP1～3	実習期間中・実習施設毎・毎年	5年生	指導薬剤師との面談、学生指導、学修成果の評価	実務実習実施委員会	DP到達状況の確認、学修支援、自己点検・評価に活用
3	卒業論文・卒業研究	DP1～3	毎年度末	6年生	卒業論文・卒業研究等の学修成果	カリキュラム検討委員会卒業研究発表実施部会	卒業論文及び卒業論文発表のルーブリック評価を行い、授業方法やカリキュラム改善、自己点検・評価に活用
4	就職状況調査	DP1～3	毎年1回	6年生	卒業生の進路（就職率、進学率、就職先）	就職支援委員会	就職支援対策、自己点検・評価に活用
5	卒業アンケート	DP1～3	毎年1～3月	6年生	学修により修得した能力、大学の満足度	IR推進委員会	カリキュラム改善、学修支援の充実、自己点検・評価に活用
6	全国学生調査(最終年次)	DP1～3	毎年1回	卒業学年	学修経験、学修行動、習得した能力、大学の満足度	IR推進委員会	カリキュラム改善、学修支援の充実、自己点検・評価に活用
7	卒業生アンケート	DP1～3	毎年1回	卒業後3年経過の卒業生	現在の就業状況、大学に対する満足度、大学で身についた能力、授業や教育プログラムへ	IR推進委員会	カリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価に活用

					の意見・要望		
8	学部長会談	CP/DP1 ～2	毎年3月	学生代表者	授業、カリキュラム満足度、学生生活の要望	内部質保証推進委員会	学修環境の改善、授業方法及びカリキュラムの改善、自己点検・評価に活用
9	薬学共用試験結果の分析	CP/DP1 ～3	毎年度末	4年生	OSCE、CBTの合格状況	国試・CBT対策委員会、実務実習実施委員会	カリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価に活用
10	薬剤師国家試験結果の分析	CP/DP1 ～3	毎年度末	6年生	薬剤師国家試験の合格者の割合、標準年限内の卒業生数、自己採点結果の分析	国試・CBT対策委員会	カリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価に活用
11	中間評価アンケート	CP	毎学期の中間	全学年	学修の状況、授業の満足度	自己点検評価委員会	授業方法やカリキュラム改善、自己点検・評価に活用
12	学修振り返りアンケート	CP	毎学期の最後	全学年	学修の状況、授業の満足度	自己点検評価委員会	授業方法やカリキュラム改善、自己点検・評価に活用
13	学生生活実態調査	CP	隔年9～10月	全学年	学生生活、課外活動の経験、学修行動、大学に対する評価	学生指導・留年生対策委員会	カリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価に活用
14	全国学生調査(2年次)	CP	未定	2年生	学修経験、学修行動、習得した能力、大学の印象	教育改革・FD推進委員会	学修環境の改善、授業方法及びカリキュラムの改善、自己点検・評価に活用
15	GPS-Academic(4年次)	CP	毎年4～5月	4年生	学修行動、授業・カリキュラム満足度	教育改革・FD推進委員会	キャリア支援、授業方法やカリキュラム改善、学修支援や低学年時における学修環境の充実、自己点検・評価に活用
16	成績不振学生、休退学の調査	CP	毎年1回	全学年	単位修得状況、GPA、留年者数、休退学者数	学生指導・留年生対策委員会	学生に対する面談を実施し、修学及び学修支援、自学部のカリキュラム改善、自己点検・評価に活用
17	CBT対策模擬試験の結果分析	CP	毎年3回	4年生	学修の状況(得点率、苦手項目)	国試・CBT対策委員会	カリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価に活用
18	薬剤師国家試験対策模擬試験の結果分析	CP	毎年6回	6年生	学修の状況(得点率、苦手項目)	国試・CBT対策委員会	カリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価に活用
19	入学試験	AP	入学前・毎年	入学志願者	薬学部での学修に必要な基礎学力	教育改革・FD推進委員会、高大連携・リメディアル教育対策部会	入学者の現状把握に活用
20	プレイスメントテスト(化学、生物、物理、数学)	AP	入学前・毎年	1年生	薬学部での学修に必要な基礎学力	高大連携・リメディアル教育対策部会	入学時点の理系科目の習熟度を把握し、学部基礎科目の教育に活用、化学及び生物のリメディアル教育の補講授業に活用
21	プレイスメントテスト(英語)	AP	入学前・毎年	1年生	薬学部での学修に必要な基礎学力	教養・語学教育部会	入学時点の英語習熟度を把握し、習熟度別語学教育のクラス分けに活用

22	GPS-Academic(1年次)	AP	毎年4~5月	1年生	本学への満足度、入学前の学習状況、卒業後の進路	教育改革・FD推進委員会	入学時点の汎用的能力の把握、今後の学修支援、自己点検・評価に活用
----	-------------------	----	--------	-----	-------------------------	--------------	----------------------------------

以上

薬学部 創薬科学科 アセスメント・プラン

アセスメントの方針

建学の精神並びに教育の目的に沿った教育活動を実施できているかを確認し、教育活動の成果と課題の発見に資することを目的として、学修成果のアセスメントを行う。学修成果に加えて、その過程となる学修意欲や学修行動もアセスメントに含む。これらのアセスメントにより、3つのポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー）の到達状況を把握する。ディプロマ・ポリシーの到達状況は卒業時の学修成果や卒業後の自己並びに社会的評価、カリキュラム・ポリシーの到達状況はカリキュラムの実施状況及び各授業科目における学生の学修成果等をもとにディプロマ・ポリシー到達に向けた進捗、アドミッション・ポリシーの到達状況は入学者の資質・能力を確認する。

アセスメントは、学生の成果物等に基づき「何ができるか（アウトカム）」を評価する直接評価と、学生の自己評価に基づき「何ができると思っているか（アウトカム）」、「どのように学修しているか（アウトプット）」を評価する間接評価に基づき行う。学生全体だけでなく個々の学生の状況についても、経年的かつ多面的に把握する。

アセスメントの方法

No.	名称	対象	時期・頻度	学年	主な質問項目、内容等	実施責任部署	結果の活用方法
1	学修ポートフォリオ	DP1～3	毎学期の最初と最後	全学年	学修の状況、DP到達度評価	自己点検評価委員会	DP到達状況の確認、学修支援、自己点検・評価に活用
2	卒業論文・卒業研究	DP1～3	毎年度末	4年生	卒業論文・卒業研究等の学修成果	カリキュラム検討委員会卒業研究発表実施部会	卒業論文及び卒業論文発表のルーブリック評価を行い、授業方法やカリキュラム改善、自己点検・評価に活用
3	就職状況調査	DP1～3	毎年1回	4年生	卒業生の進路（就職率、進学率、就職先）	就職支援委員会	就職支援対策、自己点検・評価に活用
4	卒業アンケート	DP1～3	毎年1～3月	4年生	学修により修得した能力、大学の満足度	IR推進委員会	カリキュラム改善、学修支援の充実、自己点検・評価に活用
5	全国学生調査(最終年次)	DP1～3	毎年1回	卒業学年	学修経験、学修行動、習得した能力、大学の満足度	IR推進委員会	カリキュラム改善、学修支援の充実、自己点検・評価に活用
6	卒業生アンケート	DP1～3	毎年1回	卒業後3年経過の卒業生	現在の就業状況、大学に対する満足度、大学で身についた能力、授業や教育プログラムへの意見・要望	IR推進委員会	カリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価に活用
7	学部長会談	CP/DP1	毎年3月	学生代表者	授業、カリキュラム満	内部質保証推進委	学修環境の改善、授業方法及びカリキュラ

		～2			足度、学生生活の要望	員会	ムの改善、自己点検・評価に活用
8	中間評価アンケート	CP	毎学期の中間	全学年	学修の状況、授業の満足度	自己点検評価委員会	授業方法やカリキュラム改善、自己点検・評価に活用
9	学修振り返りアンケート	CP	毎学期の最後	全学年	学修の状況、授業の満足度	自己点検評価委員会	授業方法やカリキュラム改善、自己点検・評価に活用
10	学生生活実態調査	CP	隔年9～10月	全学年	学生生活、課外活動の経験、学修行動、大学に対する評価	学生指導・留年生対策委員会	カリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価に活用
11	全国学生調査(2年次)	CP	未定	2年生	学修経験、学修行動、習得した能力、大学の印象	教育改革・FD推進委員会	学修環境の改善、授業方法及びカリキュラムの改善、自己点検・評価に活用
12	GPS-Academic(3年次)	CP	毎年4～5月	3年生	学修行動、授業・カリキュラム満足度	教育改革・FD推進委員会	キャリア支援、授業方法やカリキュラム改善、学修支援や低学年時における学修環境の充実、自己点検・評価に活用
13	成績不振学生、休退学の調査	CP	毎年1回	全学年	単位修得状況、GPA、留年者数、休退学者数	学生指導・留年生対策委員会	学生に対する面談を実施し、修学及び学修支援、自学部のカリキュラム改善、自己点検・評価に活用
14	入学試験	AP	入学前・毎年	入学志願者	薬学部での学修に必要な基礎学力	教育改革・FD推進委員会、高大連携・リメディアル教育対策部会	入学者の現状把握に活用
15	プレイスメントテスト(化学、生物、物理、数学)	AP	入学前・毎年	1年生	薬学部での学修に必要な基礎学力	高大連携・リメディアル教育対策部会	入学時点の理系科目の習熟度を把握し、学部基礎科目の教育に活用、化学及び生物のリメディアル教育の補講授業に活用
16	プレイスメントテスト(英語)	AP	入学前・毎年	1年生	薬学部での学修に必要な基礎学力	教養・語学教育部会	入学時点の英語習熟度を把握し、習熟度別語学教育のクラス分けに活用
17	GPS-Academic(1年次)	AP	毎年4～5月	1年生	本学への満足度、入学前の学習状況、卒業後の進路	教育改革・FD推進委員会	入学時点の汎用的能力の把握、今後の学修支援、自己点検・評価に活用

以上